

## 「ジャカラダ」電発で初めて開花

電源開発松浦火力発電所の構内にあるジャカラダの木に6月初旬、初めて花が咲きました。

ジャカラダは、オーストラリアや南アメリカなどで街路樹として多く見られる木で、雨期の始まりに一斉に淡い紫色の筒状の花を咲かせます。

姉妹都市であるマッカイ市との交流がきっかけで、平成2年にジャカラダの幼木が同発電所に石炭船「松浦丸」で運ばれてきたもの。同発電所では、同年、

1号機の営業運転開始を記念して幼木を植樹しましたが、17年目にして初めて花が咲きました。

開花したのは56本中3本で、職員は「毎年工夫を重ね、こもを巻いたりして防寒対策などをしてきました。今後毎年咲くよう工夫していきたいです」と話していました。



## 犯罪防止を呼びかけ海上パレード

松浦地区沿岸協力会（板谷國博会長）が6月2日、犯罪防止を呼びかける海上パレードを行いました。

同協力会は、密出入国・密貿易・密漁などの犯罪防止や沿岸事故防止のため、沿岸部での防犯活動を推進し、平穏で安全な郷土づくりに寄与することを目的に、平成4年に設立されました。

パレードには、松浦警察署や海上保安部、税関も参加。会員約50人が乗り込んだ船舶4隻、巡視艇2隻が、調川町のエンマキを出発。今福町や福島町、鷹島町の港を巡回し、沿岸住民に犯罪防止を呼びかけました。

## 市民に苗木を配布 —九州電力・電源開発—

九州電力松浦発電所と電源開発松浦火力発電所が6月12日、中央公園で苗木を配布しました。

環境月間の取り組みとして行われたもので、配られた苗木は、ベゴニア、ペチュニア、マリーゴールドなど8種類、合計400鉢。

法被姿の職員など約20人が配布を始めると、多くの市民が訪れ、約30分で配布は終了。特設テントを訪れた市民は苗木を笑顔で受け取っていました。

また、環境月間の取り組みとして5日には同発電所の職員など約80人が大崎海水浴場の清掃も行いました。



## 中野OB会が清掃活動

御厨町中野地区の住民でつくる中野OB会（吉原徳明会長）が5月27日、市道沿いの清掃を行いました。

同会はボランティア活動を目的に昭和59年に発足し、50代を中心に会員は25人。年4回、市道に飛び出した竹や木の伐採、カーブミラーなどの清掃を行っています。

この日は、約10人の会員が、かまやチェーンソーを手に市道脇の竹を伐採したり、クレーン車を使って電線にかかった木の枝などを切り落としたりしました。

吉原会長は「通学路でもある市道をきれいにすれば、防犯効果も高まります。これからも活動を続けていきたいです」と話していました。



## 災害危険箇所などを視察

梅雨時期を前に、消防団、消防署、警察署、市等の防災関係者が5月31日、市内の災害危険箇所や災害復旧箇所を視察しました。

今年は、落石（福島町浅谷免）、浸水（福島町塩浜免）、冠水（福島町端免）、急傾斜（星鹿町川原辺田地区、御厨町市場地区）、災害復旧（志佐町岸浜海岸）、志佐川浸水想定区域（志佐町高野橋）の7か所を視察。



防炎関係者は、それぞれの区域で災害対策工事の進み具合や今後の復旧作業などを念入りに確認しました。

## 各種目で熱戦

### 一県障害者スポーツ大会一

第7回長崎県障害者スポーツ大会が5月27日、諫早市の県立総合運動公園陸上競技場を主会場に開かれました。

障害を乗り越え心身の機能向上と健康の維持増進を図ろうと毎年開催されています。

本市からは、100種車椅子走やユニカール、やり投げなど13種目に43人が出場。家族や友人たちの温かい声援を受け、熱戦を繰り広げました。

本市出場選手の上位成績は次の通りです。

【個人】1位＝14人 2位＝8人 3位＝6人

【団体】2位＝ユニカール



## 障害者の自立と社会参加を

平成19年度松浦市身体障害者福祉協会の定期総会が6月9日、松浦市社会福祉センターで開かれました。

物故身体障害者へ黙とうをささげた後、岸田義孝会長が「昨年度策定された障害者福祉計画に基づいて、新しい松浦市の障害福祉をすすめてほしいと思います」とあいさつ。参加した会員や関係者約40人は、障害者の自立と社会参加、協会組織の拡大強化に努力するとして今年度の活動方針や行事計画などを承認しました。

### 松浦市身体障害者定期総会



また、5月30日に開かれた各支部代表者会では、組織強化を図るため、各支部で開催している総会を、平成21年度から一本化することが確認されました。

## 志佐少年が若鷹旗準優勝 一松浦ライオンズクラブつつじ杯 少年ソフトボール大会一

第14回松浦ライオンズクラブつつじ杯少年ソフトボール大会が6月17日、志佐小学校運動場など4会場で行われました。

大会には、県内各地から32チームが出場（市内は8チーム）。8パートに分かれて予選を行い、各パートの1位8チームが若鷹旗・若獅子旗の2つに分かれて決勝トーナメントを行いました。

市内チームの上位の結果は次の通りです。

【若鷹旗】 ②志佐小年 ③上志佐法知

【若獅子旗】 ③今福少年



写真は上志佐法知